



開拓

編集発行

安八郡輪之内中学校
PTA 会報委員会

題字 水野巨雄
印刷 (株)ダイキュー



目次

- プール完成……………P.1
- 体育大会……………P.2.3
- 特集 アンケート結果
……………P.4.5
- 中学生のすがた
PTA活動……………P.6

8月23日 (金)

田島寧子さん
を迎えて

田島さんに会えて
三年 (東海大会出場)
米山 真未

田島さんは、私のあこがれの
スイマーの一人です。その田島
さんと泳げる事が分かった時は
信じられませんでした。新しい
プールで一緒に泳いだ思い出は
一生忘れません。これからも努
力し、少しでも田島さんのよう
なすばらしい選手になれるよう
に頑張りたいです。

水泳

二年 (東海大会出場)
片野 真央

とても立派なプールを設立し
て頂きありがとうございます。
その新しいプールで一番に田島
さんと泳げた事を誇りに思いま
す。水は冷たく気持ちよく泳げ
ました。田島さんは、水泳を引
退されたけれど速くてきれいな
泳ぎを見てうれしかったです。
苦勞話を聞き、私もがんばりたい
と思います。

育大会

9月14日(土)



伝えたい、青団の仲間に

青団団長 荒川 祐洋

「総合優勝赤団」赤団の方から大歓声が上がった。景色がかすんで見える中、僕の頭には色々な事がはつきりと浮かんだ。

四月、団長になりたかった僕は学級委員に立候補した。みんなをまとめることや自分自身の生活態度を改めようと心がけた。

夏休みから応援の準備を始め、九月からの団練習に臨んだが、振りや時間がまとまらず、最後の最後まで悩んだ。しかし、そんな時、応援リーダーや青団のみんなが、いつも心一つにして盛り上げてくれた。仲間が仲間のためにがんばってくれた。

今、優勝旗が手渡された。僕は心から言いたい。「青団のみんなありがとう。」



赤団の魂

赤団の魂

赤団団長 入山 友則



「必ず団長になる！」この決意を胸に僕は団長になった。しかし、団長という仕事は思っていた以上に大変で何度も悩んだ。夏休みの練習や団員を前にしての活動は、活動計画作りの大切さと、仲間を信じることの喜びを覚えてくれた。体育大会前日、各団の最終リハースルの時、優勝を確信した。当日は何の恐れも緊張もなく、ただただ後ろから聞こえる力強い声と、赤団の魂が削り出す美しい“山”から力をもらった。ピストルが鳴り、タイムを聞いて喜びに震えた。全ての優勝を勝ちとったうれしさとともに、みんなでひとつのことをやりとげる大切さを学んだ。



人生最高の体育大会

白団団長 野々垣 学

待ちに待った体育大会当日。ぼくは、この日のために、できる限りの努力をしてきた。「絶対優勝!!」という気持ちで臨んだ。

応援合戦が始まった。ぼくたちは、今までにない最高の演技ができた。あとは、結果を待つだけだ。「青18、赤19、白13」ぼくは、その瞬間、あまりのくやしきで、どつと涙が込み上げてきた。「でも、やる事はすべてやってきて、悔いはない。」そんな気持ちで、涙をこらえて閉会式を終えた。

総合の結果は二位だったけど、自分の中では、白団が一番だ。ぼくは、応援団長をやって、最高の体育大会を経験することができた。



体

1年

青団最高!!

阿部 薫美

私は姉や兄がいないので、中学校の体育大会、応援は本当に初めてでした。今まで見たことのない風景と迫力につつまれて、私の心は興奮と楽しさでいっぱいでした。なんといつとも一番心から離れないのは、やっぱり応援……。結果は負けてしまいましたが、一組という仲間、青団と、青団の応援団という仲間、みんな最高です!

2年

涙の出た一心同体

赤尾 めぐみ

私は、今年の体育大会で仲間と協力する大切さを学びました。私の班は六人五脚でなかなか息が合わなかったので仲間に迷惑をかけたかと思う、工夫した練習をしました。本番、私の班が走ることができたのは仲間が「がんばれ」といってくれたおかげだと思います。結果はなんと一位。いい思い出になりました。

3年

朱雀の如く戦った騎馬戦

篠田 真一

僕たち赤団！朱雀の如く戦った体育大会。その中でも燃え上がった騎馬戦。青団は青龍の如く、白団は白虎の如く、そして僕たち赤団は、朱雀の如く正々堂々戦った。

すべての騎馬がバランス良くどこのついでにすぐ強く、倒すのに苦労しました。そして最後に赤団優勝おめでとう!!

親

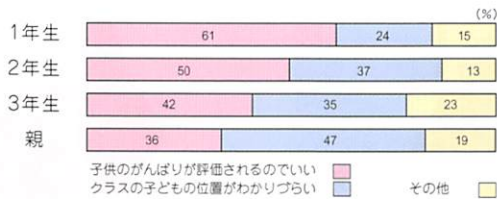
体育大会の参観にて

安田 絹江

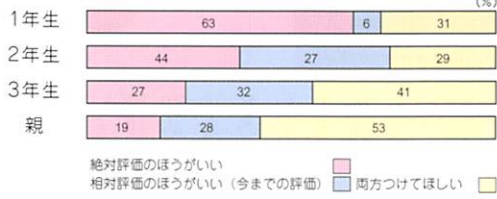
心配していた天気も競技には支障もなく無事に終えた事を喜んでいきます。今年の種目の中では私の心に印象強く残っているのは、ロックソランと応援合戦。生徒の皆さん一人ひとりが、個人、団体種目にと精一杯頑張る姿を見ていて、つい我を忘れて応援しました。楽しい時間を過ごす事が出来ました。



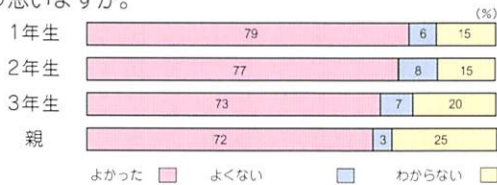
6 絶対評価の通知票（1学期）を見てどう思いましたか。



7 絶対評価と相対評価、どう思いますか。



8 少人数クラスを英語と数学の授業で実施していますが、どう思いますか。



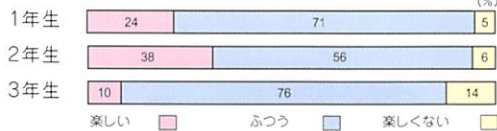
よかったと答えたのは、なぜですか。



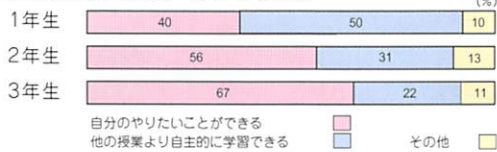
よくないと答えたのはなぜですか。

- 1年生 英語は少人数だが数学は人数が多い。理解していないのにどんどん当てられる。
- 2年生 多人数の方がよい。今までと変わらない。移動教室ばかりで大変。
- 3年生 クラスが半分になる。何も変わらない。差がでる。つまらない。

9 総合学習の授業は、楽しいですか。



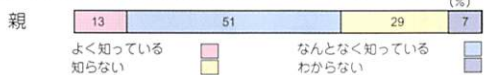
楽しいと答えたのは、なぜですか。



楽しくないと答えたのは、なぜですか。

- 1年生 意味があまりわからない。(1名) 無回答 (3名)
- 2年生 自分の希望と違うから。(全員)
- 3年生 自分の希望と違うから。(5名) 行事があって進まない。やっている事がよくわからない。めんどろくさい。つまらない。無回答 (3名)

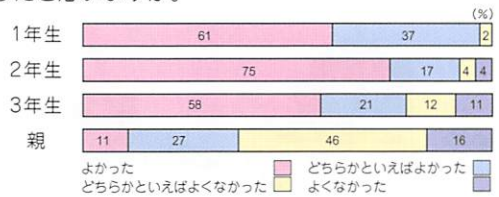
10 お子さんが総合学習で何を学習しているかご存知ですか。



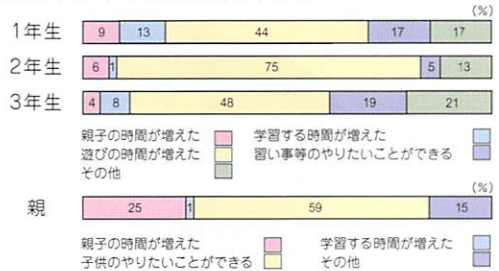
アンケート回収率 生徒92% 親76%
ご協力ありがとうございました。

会報委員会

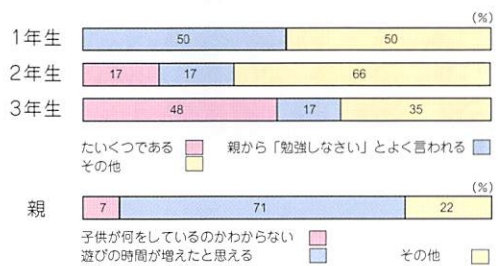
1 学校週5日制の実施により毎週土曜日が休みになりました。よかったですか。



よかった・どちらかといえばよかったと答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。



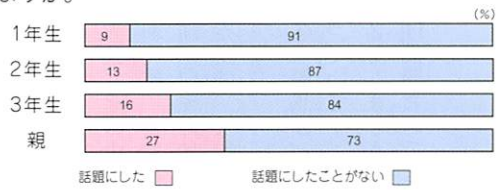
どちらかといえばよくなかった・よくなかったと答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。



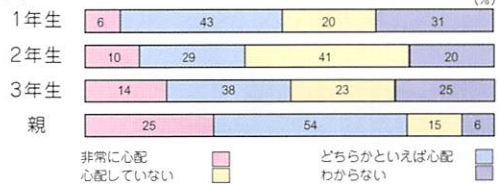
2 新学習指導要領の内容を知っていますか。



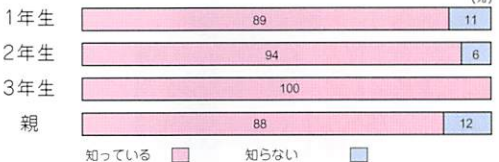
3 新学習指導要領について、親子で話題にしたことはありますか。



4 学習内容が厳選されることによって、学力低下は心配ですか。



5 絶対評価について知っていますか。



新学習指導要領について

—アンケート結果より—

今、親としてができるか

教務主任 後藤 義隆

先日のアンケートの結果は、全国的に実施されたものと似た結果を示しています。教育改革をスタートして半年経過したわけですが、五日制、評価、「総合的な学習の時間」、少人数指導等いずれも新学習指導要領の主旨にそって歩み出したもので

す。今までの学校の教育では、一斉画一的な指導が多く、個に応じた指導への転換の必要性が求められてきました。また、学級のとらえ方を学習集団と生活集団という二つの機能を一体化する場としてきましたが、さらにこれからは、柔軟に考えて、学習においては枠はずすこととしたわけです。習熟度により個の可能性を一層伸ばすことができるように考えています。新学習指導要領は、「学校が責任をもって子どもに習得させるべき最低基準の内容」となりました。したがって、教師はその内容を全ての子どもに習得させるように指導を進めています。また、評価でも、個に応じた指導の評価ととらえ、学習して身に付けるべき内容の目標にどの程度まで到達できたかを示していることが必要になってきました。それがいわゆる絶対評価と呼ばれるものです。

「生きる力」を単なる知的な学力だけと考えず、集団でよりよい生活をしていく力も考えなければなりません。この「生きる力」をつけるために、家庭、学校、地域が子どもへの願い（どんな力をつけてほしいか）を理解し合い、それぞれが責任を果たしつつ、協力連携し育てていく必要があります。

アンケート結果から

まず、週五日制についてよかったとした理由を、子供達の半数は遊びの時間が増えたからと答えています。特に二年生に多いのは、中学生生活に慣れた時期、また受験という厳しい現実にならざるに直視していかないからでしょうか。反対に親は、よくなかった理由に遊び時間が増えたことを挙げています。家庭や地域における生活体験が増えたようにはみえません。

新学習指導要領の内容を知っていると答えたのは少数。したがって、家庭で話題にならないのも当然なかもしれません。しかし、学力低下を心配している親はかなりのようです。私達親は、子供達に無関心ではないのです。自ら率先して情報収集を図ったり知識を得ようとすると心構えが不足しているのかもしれない。周囲から与えられることに慣れ、私達に何ができるかを考えなければならない事。漠然と不安を抱き、「勉強しなさい」と口走るのではないでしょうか。

絶対評価について、子供達の

ほぼ半数はがんばりが評価されるのでよいとしている。しかし、相対評価を望む数も多い。これは、受験前にいる三年生と親の気持ちが変わっているようです。また、人は「切磋琢磨」を心に秘め成長していきたいという願望のように感じられます。少人数クラスについては、子供達の多くがよかったとしている。「わかる授業」に向けての先生方の尽力によるものではないでしょうか。

総合学習について、楽しいと答えた子供は少ない。三年生では、わずかにパーセント、学校独自の特色ある内容になっていると考えられるのですが、自分のやりたい事でない場合は興味も湧かず苦痛と感ずる事もあるでしょう。ある記事に「総合学

親として
今、何が
できる
だろうか!?



文責 会報委員会



10月5日 産業祭における 中学生のすがた

●心のかけ橋に

一年 高木 崇代

「輪中のみなさんの登場です。」その声に一瞬にして頭が真っ白になった。まともに周りが見れない。ふと隣を見たら友人も引きつりながら笑っている。ようし！こうなったらやるしかない！「礼！」拍手喝采！色々な人に声をかけられた。とても嬉しくなった。親、地域の人、年齢を越えた連帯感を改めて感じられた。輪中ソーランは、輪之内町の人々のかけ橋となったと実感できたひとときでした。

●エコドーム竣工式

三年 安田 あや

十月五日、私たちブラスバンド部は、エコドーム竣工式で演奏させていただきました。

引退した三年生をまじえての最後の演奏がこのようにすばらしい式であったことをうれしく思います。心に残る竣工式になり、本当に良かったと思います。

☆エコドーム竣工式 にて

ブラスバンド部 演奏
曲目/サンキュー

☆環境ボランティア 2年生の取り組み紹介

☆輪中ソーラン



中学生 環境ボランティア本部

- 水質検査
- ケナフではがき作り
- 環境学習の発表



●ボランティア

活動をして

二年 近藤 由佳

難しく思っていたケナフ作りは、体験する中で考えていたより身近なものだと感じました。様々な年齢の人が参加していましたが、皆とても楽しそうでした。また参加したいと思っています。

P T A 活 動



★奉仕作業

成人副委員長 野々垣佐智子

エーッ！中学校で奉仕作業？なんて思われた方もあるかもしれませんね。小学校の行事と重なって大変だった方もあったようですが、大勢の父兄の皆さんのご協力を頂く事ができました。お天気も良く、暑い中での作業でしたが、子供達は気持ちよく運動できると思います。終了後のプール見学は如何でしたか？

★校外指導を終えて

校外委員長 山田 笑子

ぞうすい祭・産業祭等の校外指導の場に於いて、特に問題もなく無事に終了しました。中でも、産業祭では、ボランティア活動に一生懸命取り組んでいた中学生の姿に感心しました。指導にあたって下さった先生方・役員の皆様方、御協力ありがとうございました。今後とも、よろしくお願い致します。

★一人の資源回収

地区委員 安田 千穂

「中学校の資源回収です。ありがとうございました。」と言って我が息子は玄関先に置いてある新聞紙の山を車に積み込む。私の地区には中学生は息子一人。そして三年間一人である。全部で十六軒しかない地区ではあるけれど、先日一軒一軒にお願いの文章を配布してあり、幸い全てのご家庭からいつもより多くのご協力を戴きました。



10月19日
資源回収・御協力
ありがとうございました。
ご次回は
2月8日(土)
です。



◆お知らせ◆
平成十五年一月十一日(土)

文化会館において、輪之内町PTA連合会研修大会が開催されます。ぜひご参加ください。